

平成30年度 第1回 浜松市広聴モニターアンケート調査結果の概要

- 1 調査目的
 市政の課題等について、迅速に市民ニーズを把握し、市政へ反映するため

2 調査事項

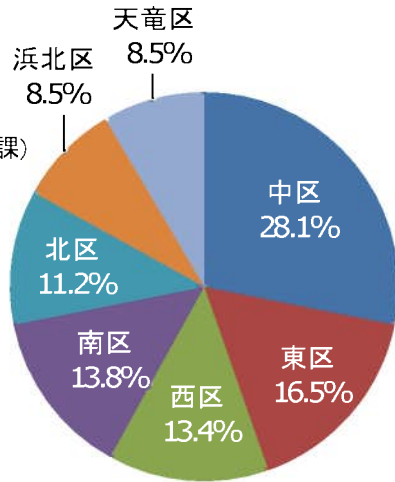
- (1)ごみ処理非常事態宣言について（環境部 ごみ減量推進課）
 (2)国際化事業について（企画調整部 国際課）
 (3)新川モールの利活用について（産業部 産業振興課）

3 調査実施概要

- (1)調査地域 浜松市内
 (2)調査対象 広聴モニター244人
 (3)調査方法 質問紙郵送法及びインターネット回答
 (4)調査期間 平成30年5月15日～5月31日

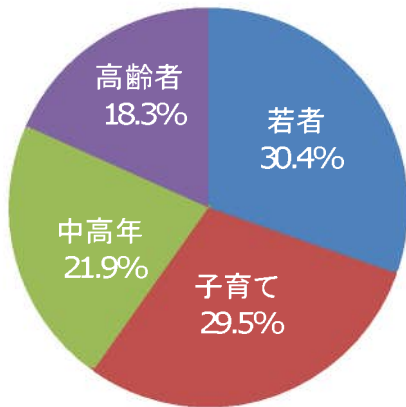
- 4 回収状況、有効回収率 224人(91.8%)

回答者の居住区 (N=224)



居住区	人数	割合
中区	63人	28.1%
東区	37人	16.5%
西区	30人	13.4%
南区	31人	13.8%
北区	25人	11.2%
浜北区	19人	8.5%
天竜区	19人	8.5%

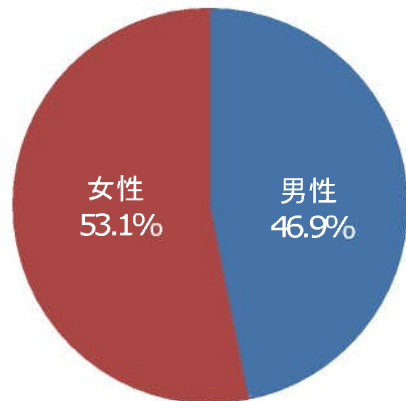
回答者の世代 (N=224)



世代	年齢	人数	割合
若者	18歳～34歳	68人	30.4%
子育て	35歳～49歳	66人	29.5%
中高年	50歳～64歳	49人	21.9%
高齢者	65歳～79歳	41人	18.3%

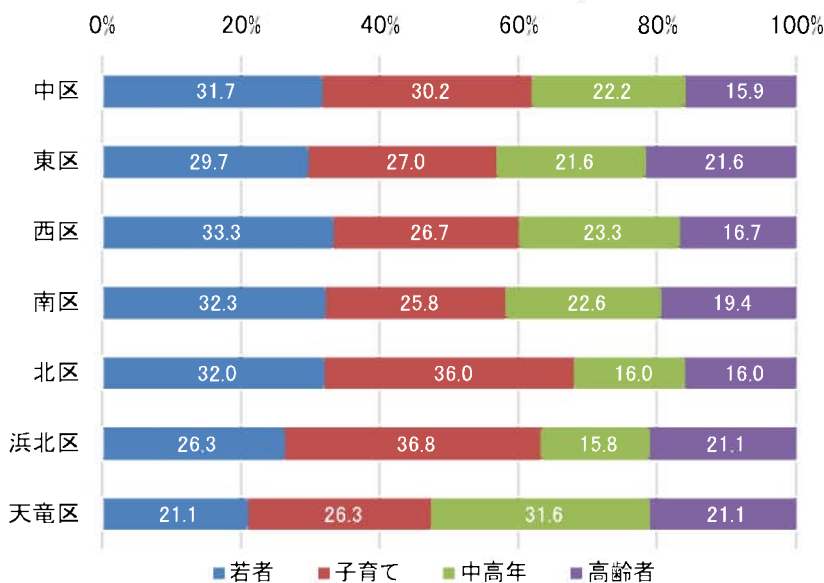


回答者の性別 (N=224)



性別	人数	割合
男性	105人	46.9%
女性	119人	53.1%

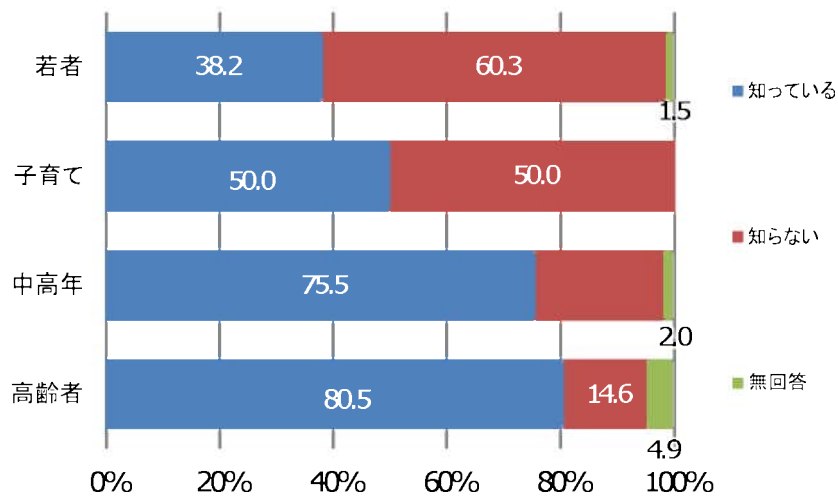
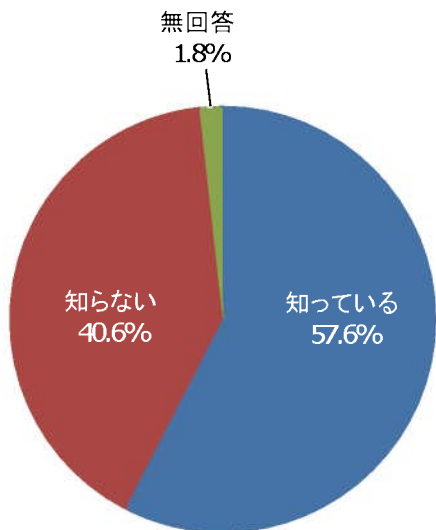
行政区別の世代構成比 (N=224)



※比率はすべて百分率(パーセント)で表し、少数点以下第2位を四捨五入しています。このため、比率の合計が100%にならない場合があります。

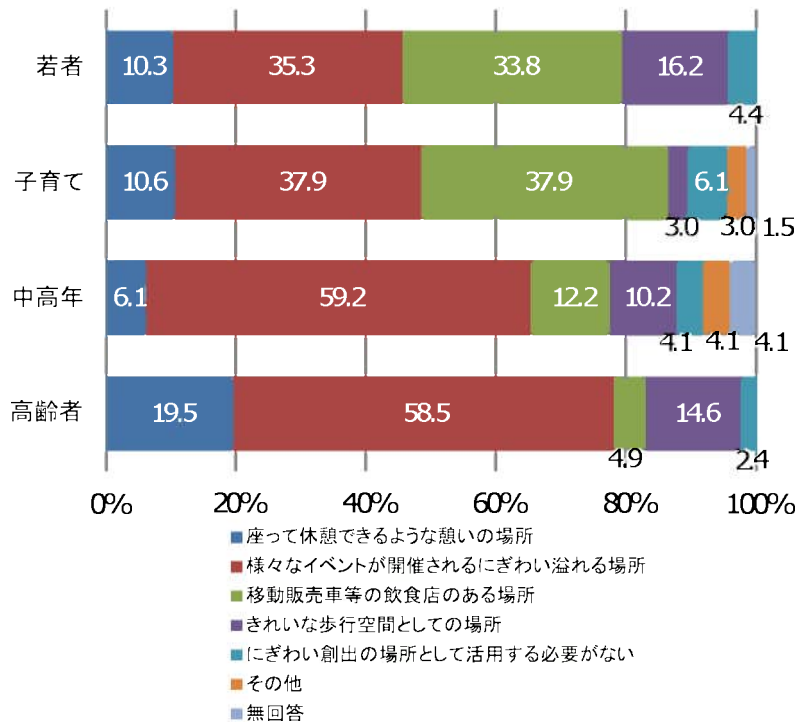
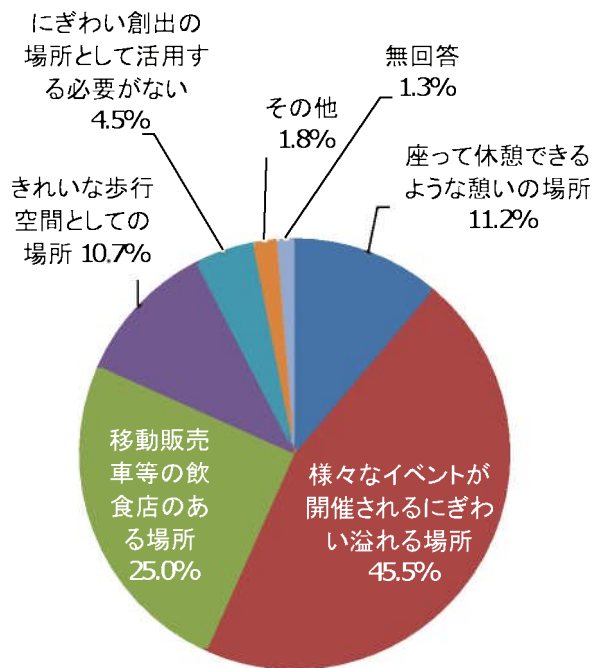
<新川モールの活用について>

問1 新川モールの場所の認知度 (N=224)



- 新川モールの場所の認知度については、約6割が「知っている」と回答しています。
- 世代別にみると、世代が進むにつれて「知っている」割合は高くなっています。

問2 新川モールの望ましい活用について (N=224)

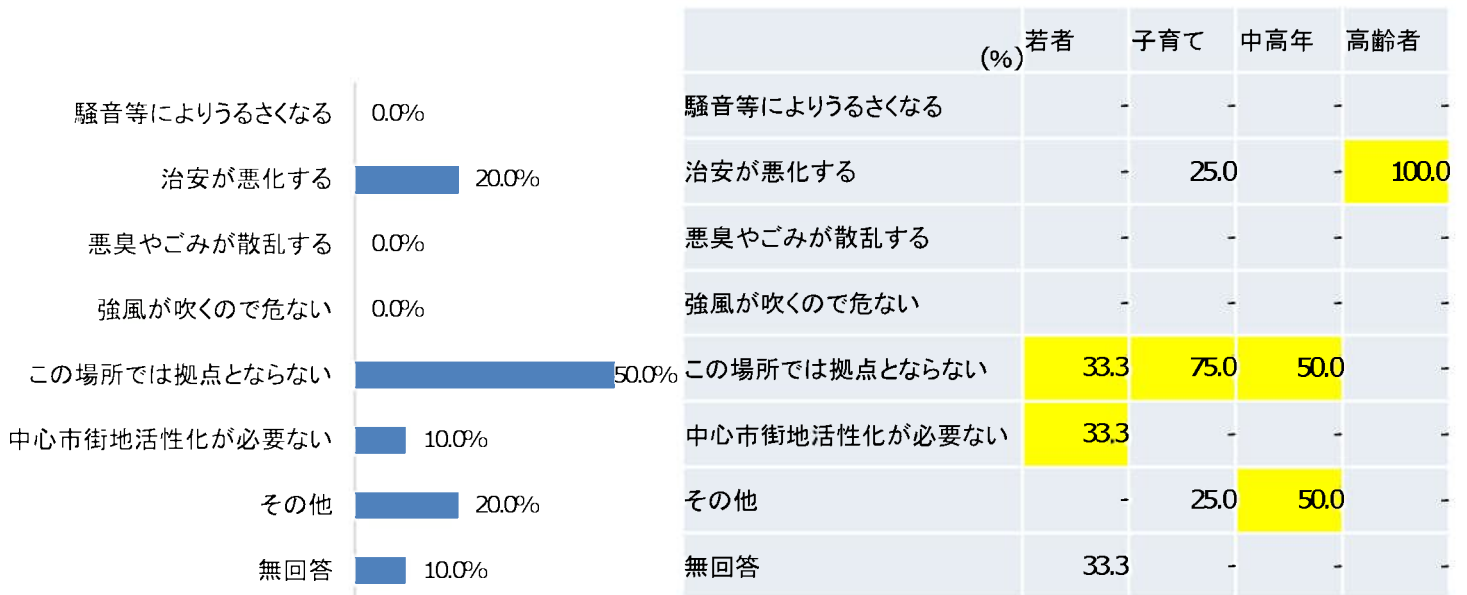


■その他意見

- ・SNSにアップしたくなるようなスポット
- ・高架を明るいイメージに
- ・そこだけ何とかしようという発想ではなく、街全体を考えた検討が必要
- ・子どもが遊べるキッズエリア
- ・子ども連れで行ける、天候に左右されないような飲食店

- 新川モールの望ましい活用については、「様々なイベントが開催されるにぎわい溢れる場所」が4割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「様々なイベントが開催されるにぎわい溢れる場所」が最も多くなっています(子育ては「移動販売車等の飲食店のある場所」と同率)。

■ 問3 にぎわい創出の場所として活用する必要がない理由 (N=10 複数回答)
 (問2で「5 にぎわい創出の場所として活用する必要がない」と回答した方)



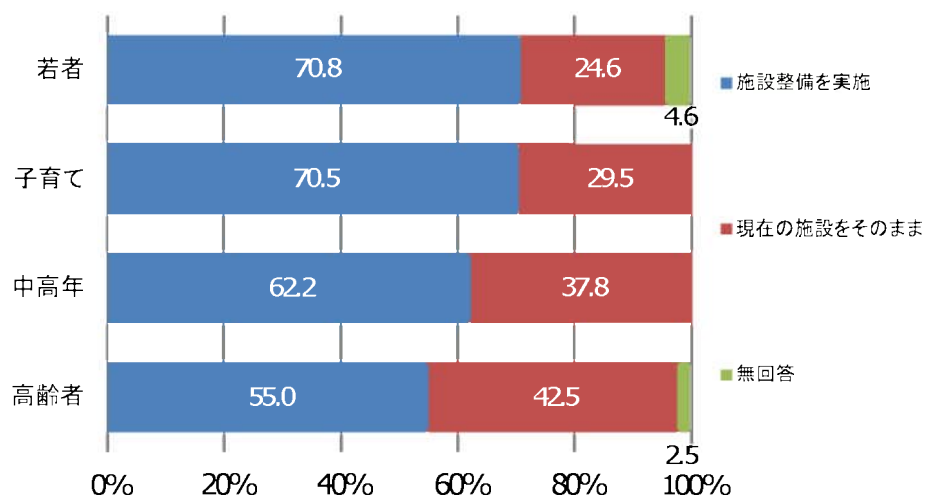
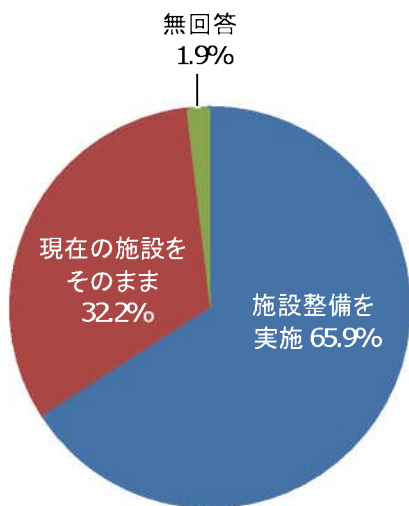
■ その他意見

- ・大型ショッピングモールが郊外にできて人の流れが変わった。駅周辺＝人が集う場所ではない。
- ・べんがら横丁と同じく失敗すると思う。地下道の廃止にお金を使ってほしい

- にぎわい創出の場所として活用する必要がない理由については、「この場所では拠点とならない」が5割と最も多くなっています。
- 世代別にみると、若者・子育て・中高年では「この場所では拠点とならない」が最も多く、高齢者は「治安が悪化する」が最も多くなっています(若者は「中心市街地活性化が必要ない」、中高年は「その他」も同率)。

■ 問4 新川モールをどのように活用したらよいか (N=211)

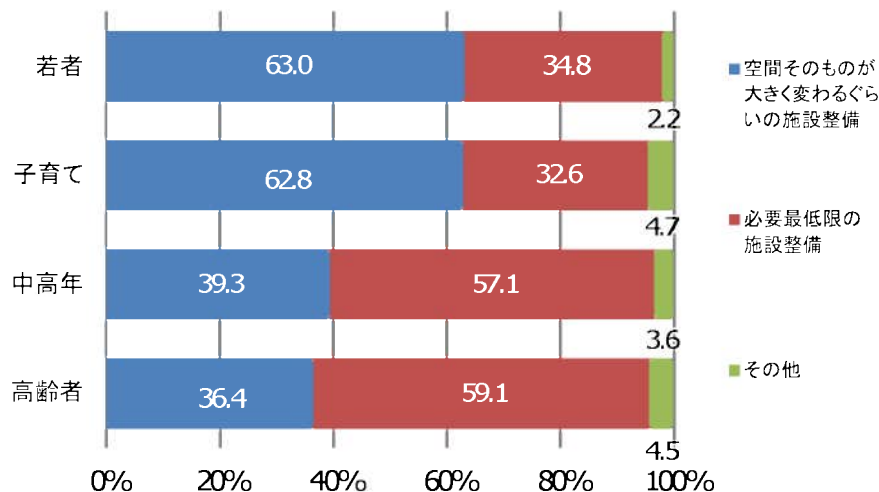
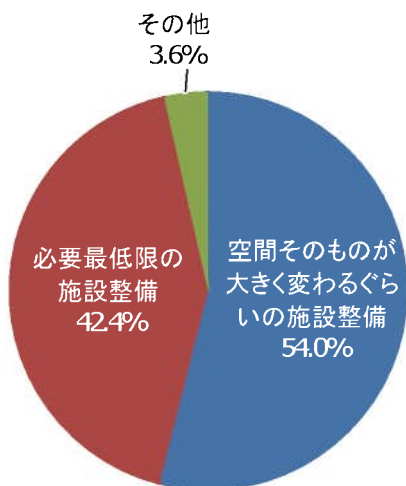
(問2で「1 来街者や地域の方々が座って休憩できるような憩いの場所」「2 音楽やアート、朝市、物産展等の様々なイベントが開催されるにぎわい溢れる場所」「3 ランチから夕食まで、カフェや飲食系の移動販売車等の飲食店のある場所」「4 きれいな歩行空間としての場所」「6 その他」と回答した方)



- 新川モールをどのように活用したらよいかについては、「施設整備を実施」が約7割となっています。
- 世代別にみると、世代が高くなるほど「現在の施設をそのまま」の割合が概ね高い傾向にあります。

問5 どの程度の整備が必要か (N=139)

(問4で「1 施設整備を実施したうえで活用したほうがよい」と回答した方)



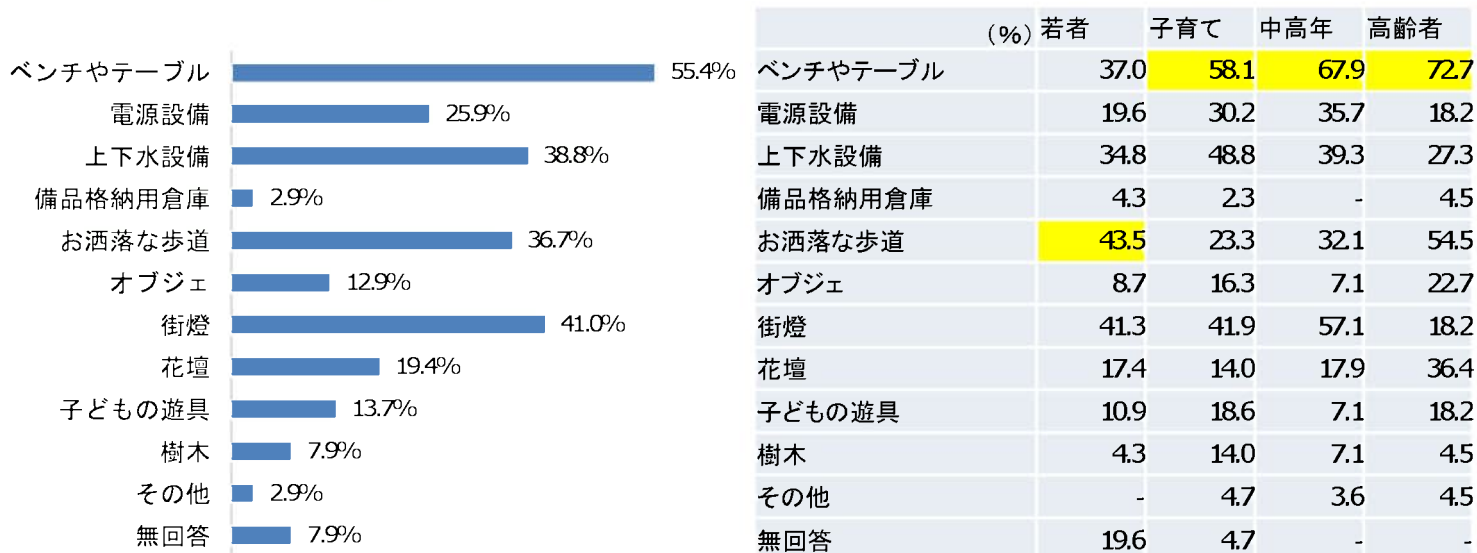
■その他意見

- ・暗い印象があるので、明るくなるような整備がよい
- ・必要性をもった整備
- ・現在の状況がわからない
- ・公共駐車場

- どの程度の整備が必要かについては、「空間そのものが大きく変わるぐらいの施設整備」が5割以上となっています。
- 世代別にみると、若い世代ほど「空間そのものが大きく変わるぐらいの施設整備」の割合が高くなっています。

問6 必要な設備は何か (N=139 複数回答)

(問4で「1 施設整備を実施したうえで活用したほうがよい」と回答した方)



■その他意見

- ・市の駐車場、駐輪場
- ・ライブハウス
- ・ホームレスや鳩の糞が気になる
- ・必要性のある設備
- ・時代や流行によって変化できるようなもの
- ・障がい者も利用できる綺麗なトイレ

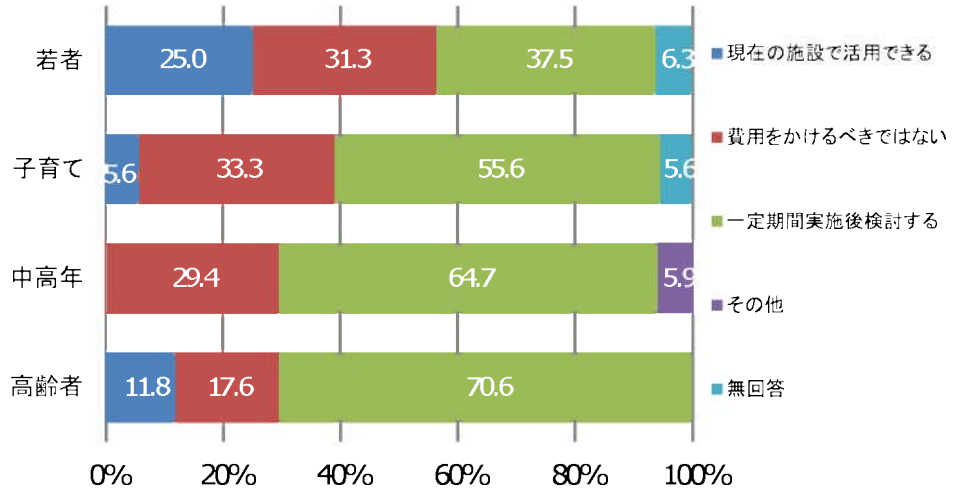
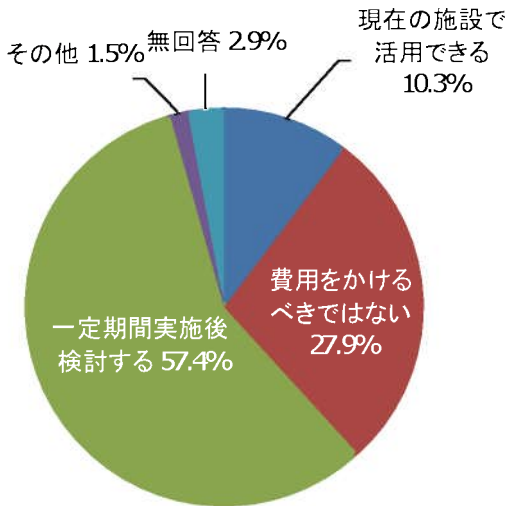
■樹木の意見

- ・イチョウ ・桜 ・もみじ ・オリーブ ・ポプラ
- ・季節を感じるもの ・害虫が発生しない樹木

- 必要な設備は何かについては、「ベンチやテーブル」が5割で最も多く、「街燈」が4割、「上下水設備」と「お洒落な歩道」が3割となっています。
- 世代別にみると、子育て・中高年・高齢者で「ベンチやテーブル」が最も多く、若者では「お洒落な歩道」が最も多くなっています。

問7 現在の施設のままでよいと判断した理由 (N=68)

(問4で「2 現在の施設をそのまま活用したほうがよい」と回答した方)



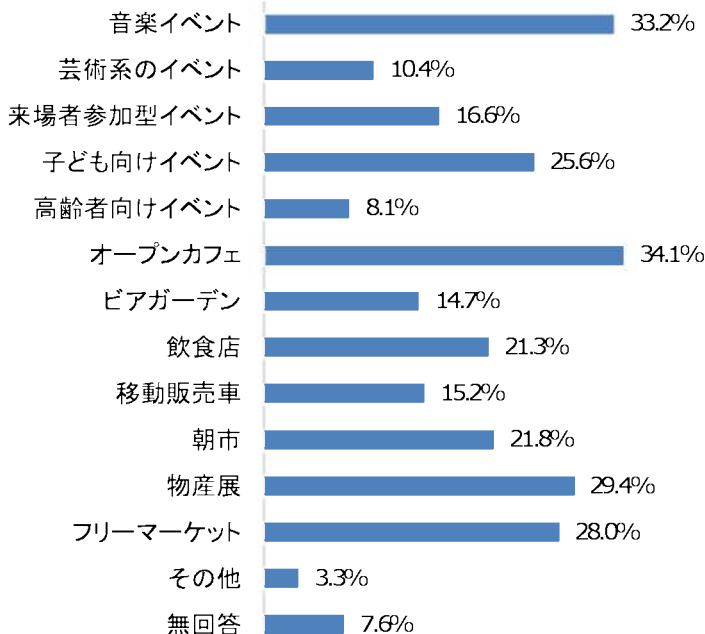
■その他意見

- ・綺麗な空間を保てるならよいが、保てないなら、費用をかけるべきではない
- ・鳥の糞がついた遊具・ベンチ、ごみが落ちている場所に行きたいとは思わない

- 現在の施設のままでよいと判断した理由については、「一定期間実施後検討する」が約6割と最も多くなっています。
- 世代別にみると、世代が高くなるほど「一定期間実施後検討する」の割合が高くなっています。

問8 開催してほしいイベント (N=211 複数回答)

(問2で「1 来街者や地域の方々が座って休憩できるような憩いの場所」「2 音楽やアート、朝市、物産展等の様々なイベントが開催されるにぎわい溢れる場所」「3 ランチから夕食まで、カフェや飲食系の移動販売車等の飲食店のある場所」「4 きれいな歩行空間としての場所」「6 その他」と回答した方)



	(%) 若者	子育て	中高年	高齢者
音楽イベント	32.3	27.9	37.8	37.5
芸術系のイベント	1.5	16.4	15.6	10.0
来場者参加型イベント	12.3	11.5	22.2	25.0
子ども向けイベント	26.2	26.2	24.4	25.0
高齢者向けイベント	-	3.3	8.9	27.5
オープンカフェ	29.2	41.0	28.9	37.5
ビアガーデン	24.6	21.3	4.4	-
飲食店	32.3	24.6	8.9	12.5
移動販売車	7.7	21.3	28.9	2.5
朝市	20.0	23.0	15.6	30.0
物産展	23.1	23.0	37.8	40.0
フリーマーケット	24.6	24.6	31.1	35.0
その他	3.1	1.6	6.7	2.5
無回答	15.4	6.6	2.2	2.5

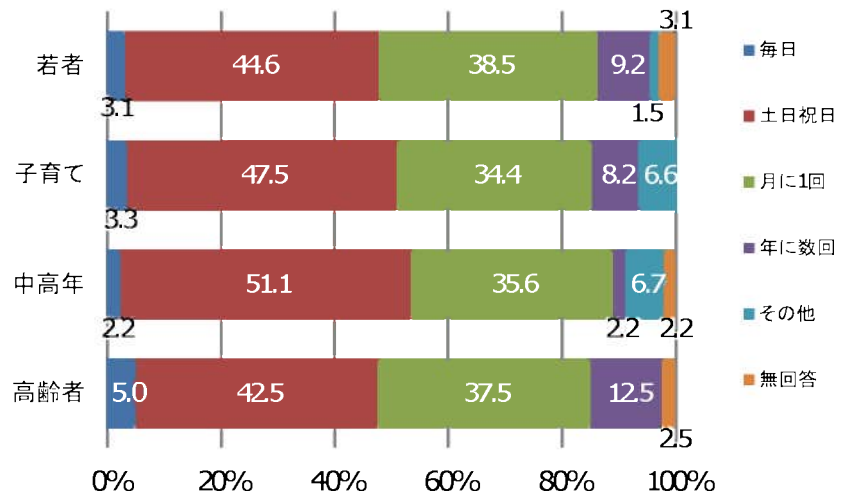
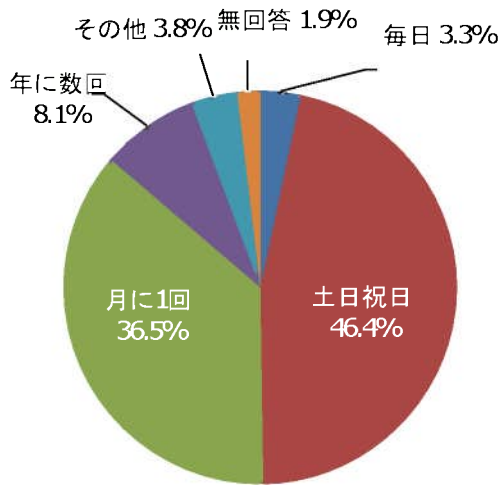
■その他意見

- ・楽器、バイク、地場産業展示
- ・誰でも弾くことができるピアノの設置
- ・テレビ局とタイアップしたクイズ番組
- ・ほとんどが駅前で行われている
- ・東南アジアの屋台街のようなフードコート
- ・駐車場代がネック
- ・スポーツイベント
- ・野外映画
- ・イベント活用ありきの設問

- 開催してほしいイベントについては、「音楽イベント」と「オープンカフェ」が3割以上となっています。
- 世代別にみると、若者では「音楽イベント」と「飲食店」、子育てでは「オープンカフェ」、中高年では「音楽イベント」と「物産展」、高齢者で「物産展」が最も多くなっています。

問9 イベント等の開催頻度 (N=211)

(問2で「1 来街者や地域の方々が座って休憩できるような憩いの場所」「2 音楽やアート、朝市、物産展等の様々なイベントが開催されるにぎわい溢れる場所」「3 ランチから夕食まで、カフェや飲食系の移動販売車等の飲食店のある場所」「4 きれいな歩行空間としての場所」「6 その他」と回答した方)



■その他意見

- ・木、金、土、日、祝
- ・週3~4回(平日含)
- ・平日に週1~2回
- ・月2回
- ・2か月に1回
- ・毎週末が理想だが成功する気がしない
- ・イベントを開催しても、ここへ出向く時の駐車場代がネック
- ・イベント以外の発想はないと考えてよいのか

- イベントの開催頻度については、「土日祝日」が約5割で最も多くなっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「土日祝日」が最も多くなっています。